

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:パレストーンシーラー

種類:アクリル樹脂エマルジョン系下塗材

製造会社

会社名:AGCコーテック株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:技術本部 CSR室 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5217-5106

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:1223300112301

用途:建築用内外壁面下地処理

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

急性毒性—経口	:区分5
急性毒性—経皮	:分類できないまたは区分外
急性毒性—吸入(気体)	:分類できない
急性毒性—吸入(蒸気)	:分類できないまたは区分外
急性毒性—吸入(粉塵/ミスト)	:分類できないまたは区分外
皮膚腐食性/刺激性	:分類できないまたは区分外
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:分類できないまたは区分外
呼吸器感作性—固体・液体	:分類できないまたは区分外
呼吸器感作性—気体	:分類できないまたは区分外
皮膚感作性	:分類できないまたは区分外
生殖細胞変異原性	:分類できないまたは区分外
発がん性	:分類できないまたは区分外
生殖毒性	:区分1B
母乳に対するまたは授乳を介した影響	:分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	:分類できないまたは区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	:分類できないまたは区分外
吸引性呼吸器有害性	:分類できないまたは区分外
水生環境急性有害性	:区分外
水生環境慢性有害性	:区分外

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き:

安全対策:

- ・絶対に飲み込まないこと。
- ・使用前にSDSを読み、全ての安全情報を理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・粉塵/ビューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・換気が十分でない場所には、呼吸器用保護具を着用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

- ・ 残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。

応急措置:

- ・ 皮膚等に付着した場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当を受けること。
- ・ 衣類に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。
- ・ 眼に入った場合は水で15分以上注意深く洗うこと。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続き場合は必ず医師の診断/手当を受けること。
- ・ 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 暴露した場合は暴露の懸念がある場合及び気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること。
- ・ 漏洩した場合は布等でふき取ること。

保管:

- ・ 容器を密閉し、日興の直射を避け、換気の良い場所に保管すること。
- ・ 凍結(3℃以下)や高温(40℃以上)は避け、屋内に保管すること。

廃棄:

- ・ 内容物/容器を、廃棄する場合は、都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- ・ 内容物/容器は、産業廃棄物として許可を受けた産業廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:混合物

化学名または一般名:情報なし

化学特性(化学式等):情報なし

毒物及び劇物取締法:該当せず

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
モノエチレングリコール	107-21-1	0.1~1	○	—	—
エチレングリコールモノーノルマルブチルエーテル	111-76-2	0.1~1	○	—	—
2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ペンタンジオールイソブチレート	25265-77-4	1~5	—	—	—
ジプロピレングリコールモノブチルエーテル	29911-28-2	1~5	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- ・ 汚染された衣類を取り除くこと。

目に入った場合:

- ・ 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 出来るだけ早く医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合:

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護:

- ・ 適切な保護具(防護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
- ・ 換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤: 水、炭酸ガス、粉末、泡、乾燥砂、その他

特有の危険有害性:

- ・ ラテックス状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスは、二酸化炭素、一酸化炭素等おガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意すること。

消化方法:

- ・ 消火活動は風上より行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・ 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
- ・ こぼれた場所は滑りやすいため、注意すること。

環境に対する注意事項:

- ・ 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
- ・ 河川、湖沼へ流出した場合は直ちに監督官庁に連絡を取ること。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・ 多量に流出した場合は毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等でくみ上げたり、硫酸バンド等の凝集剤を散布して凝固させ回収後焼却処理すること。
- ・ 少量の場合でも水で流さずボロ布等でふき取り、焼却処理すること。

二次災害の防止策:

- ・ 濡れた状態で放置すると滑りやすくスリップ事故の原因となるため、漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・ 取り扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設けることが好ましい。
- ・ 屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・ 換気が十分でない場合は呼吸器用保護具を着用すること。
- ・ 保護手袋/保護眼鏡/保護衣を着用すること
- ・ 取り扱い後はよく手洗いをを行うこと。
- ・ 出来るだけ蒸気(攪発成分)を吸入しないこと。

保管:

- ・ 凍結、高温、直射日光を避け、屋内に貯蔵すること。
- ・ 気温3~40℃の屋内に保管すること。
- ・ 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。
- ・ 内面コートされた金属容器及びプラスチック容器が望ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用し、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備にすること。

保護具:

呼吸器の保護具:

- ・ 防毒マスク(有機ガス用)が好ましい。

手の保護具:

- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具:

- ・ 取扱いには、保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体への保護具:

- ・ 取り扱う場合は、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

管理濃度/許容濃度:

化学物質名	暴露管理基準ppm	暴露管理基準mg/m ³	skin
エチレングリコールモノノールマルレブチルエーテル	25	—	
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
エチレングリコールモノノールマルレブチルエーテル	20	—	

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的状态 : 液体
色 : 乳白色

臭い	:	僅かなアンモニア臭
pH	:	8.5
融点/凝固点	:	情報なし
沸点、初留点、沸騰範囲	:	約100°C
引火点	:	なし
自然発火温度(発火点)	:	自然発火せず
燃焼性(固体、ガス)	:	情報なし
燃焼または爆発範囲の上限/下限	:	情報なし
蒸気圧	:	情報なし
蒸気密度	:	情報なし
蒸発速度	:	情報なし
比重(相対密度)	:	1.02 (20°C)
溶解度	:	水で希釈可能
n-オクタノール/水分配係数	:	情報なし
分解温度	:	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性):

- ・ 通常条件では安定。

避けるべき条件:

- ・ 3°C以下あるいは40°C以上とはならないようにする。

混触危険物質:

- ・ 水と接触して発熱するもの及び有害ガスを発生する恐れのあるものとは同一場所に貯蔵しないこと。

危険有害反応可能性:

- ・ 特記すべき反応性はなし。

危険有害な分解生成物:

- ・ 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性:

モノエチレングリコール

経口	LD ₅₀	4000 mg/kg
経皮	LD ₅₀	10600 mg/kg

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル

経口	LD ₅₀	1746 mg/kg
経皮	LD ₅₀	135 mg/kg
吸入	蒸気 LC ₅₀	450 ppm

2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ペンタンジオールイソブチレート

経口	LD ₅₀	3200 mg/kg
経皮	LD ₅₀	15200 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性:

モノエチレングリコール : 区分3

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル : 区分2

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

モノエチレングリコール : 区分2B

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル : 区分2A

生殖毒性:

モノエチレングリコール : 区分1B

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル : 区分2

特定標的臓器/全身毒性—単回暴露:

モノエチレングリコール : 区分1(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル : 区分1(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)

: 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性—反復暴露:

モノエチレングリコール : 区分1(中枢神経系、心臓、呼吸器)

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル : 区分2(血液)

組成物に関する有害性情報:

- ・ 皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。

12. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 情報なし
- ・残留性・分解性 : 情報なし
- ・生体蓄積性 : 情報なし
- ・土壌中の移動性 : 情報なし
- ・成分の水性環境有害性情報 (環境有害物質を対象)
 - 水生環境有害性 (急性毒性):
 - エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル : 区分2
 - 2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ペンタンジオールイソブチレート : 区分3
 - 水生環境有害性 (慢性毒性):
 - 2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ペンタンジオールイソブチレート : 区分3
- ・その他の環境影響情報
 - ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
 - ・製品や洗浄水を川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝等に直接流さない。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器および包装:

- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

共通

- ・取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規制

- 国連番号 : -
- 指針番号 : -
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

国際規制

- 国連番号 : -
- 国連輸送名 : -
- 国連分類 : -
- 容器等級 : -

15. 適用法令

労働安全衛生法:

- ・第57条の2 通知対象物

16. その他の情報

引用文献:

- ・日本塗料工業会編集 「原材料物質データベース」
- ・オーム社 「溶剤ポケットブック危険防災救急便覧」
- ・危険防災救急便覧
- ・国際化学物質安全カード (ICSC)
- ・(社)日本塗料工業会編「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]」
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) 公表データ

- ・各原材料製造会社発行「製品安全データシート」

その他:

- ・このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処して下さい。
- ・危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- ・PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- ・PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。